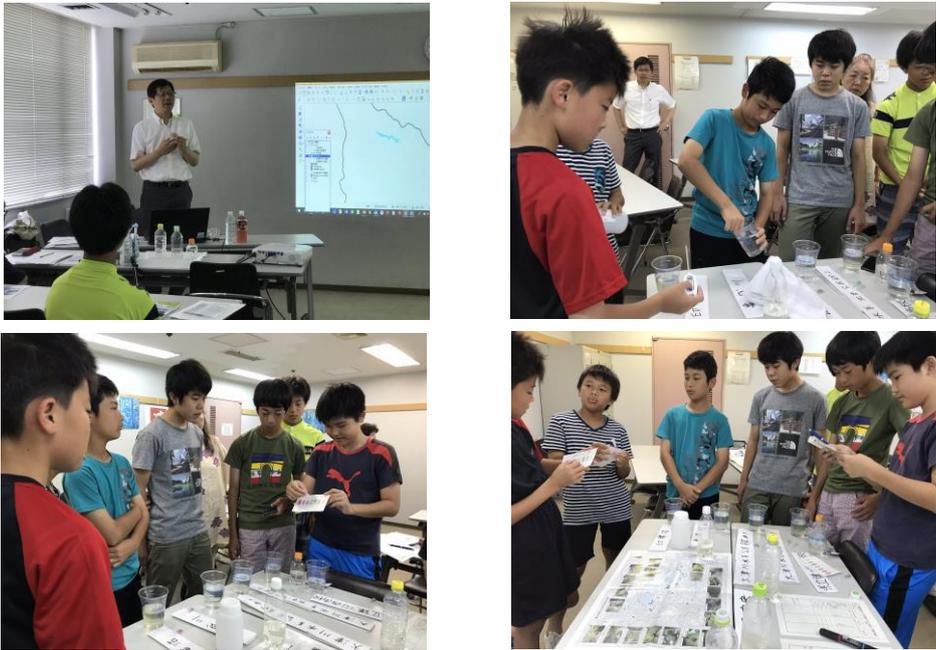


企画名	船上から手賀沼の生態を学ぼう！ プラス 鳥の博物館見学
実施団体	団体名 流山市立博物館友の会 問合せ先 小島 隆 TEL： 04-7146-7203 Email： tony.kojima@fg7.so-net.ne.jp ホームページ： http://hakubutukan-tomonokai.blogspot.jp/
目的	船上講座による手賀沼の歴史と生態を学ぶ機会を流山市民に提供する。
日時	2019年9月11日（水）9:30～12:15
プログラム・概要・ルート等	9:00 我孫子駅改札口に集合 - 徒歩 - 9:55 手賀沼の小池(ボート) 10:00 遊覧船(向陽丸)出航 船上講座(講師： 聖徳大学講師 相原正義氏) 11:00 親水広場下船 11:15 鳥の博物館見学 12:15 鳥の博物館にて解散
参加対象	流山市民
参加人数	一般参加 27名 (大人27名) 会員スタッフ 4名 (会員3名、講師1名)
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>講話する相原講師</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>外来水生植物の繁茂を指す</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>原因不明の枯れたハス</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>解説する染谷学芸員</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>鳥のしくみとは</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>展示される様々な標本</p> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	27名の参加者の内26名からアンケートをいただきその一部を紹介します。 ・相原講師の分かり易く面白い説明で良く理解が出来ました。 ・船に乗りながらの講座は、手賀沼の生態系、成り立ち、外来水生植物の問題などとても興味深いものでした。改めてまた来たいと思いました。 ・手賀沼の自然、生態系を先生の説明付きで実体験でき、特にコブハクチョウ、カワウを間近でみられ、レンギョ(ハクレン)の飛び跳ねるところも驚きでした。 ・鳥の博物館も本当に素晴らしい!!

<p>企画名</p>	<p>手賀沼もつと知ろう！ Part1 手賀沼流域の水調べと手賀沼船上見学会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会 問合せ先 中岡 丈恵 TEL&FAX： 047-385-8950 Email： naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内の手賀沼に流入する地域の排水検査 ・河川状況なども知らせる。 ・手賀沼船上見学・生き物など関心をもつ人を広げる
<p>日時</p>	<p>2019年7月28日（土）9:00～16:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>9:00 集合・六実市民センター 9:10 マイクロバス乗車・出発 9:20 水調べ ポイント①県立鎌ヶ谷西高校脇 松戸六実の生活排水(松戸市と鎌ヶ谷市の境界大津川支流) 9:40 水調べ ポイント②鎌ヶ谷市北部公民館脇白幡橋上下流 浄化装置傍から取水して、川の状況を学ぶ生活排水調べ 2階 学習室にて松戸市からCODなど実験材料配付・説明 20分 10:15 バスに乗車、手賀沼に向かう。 11:00 水調べ ポイント③手賀沼水の館棧橋取水（手賀沼船上学習・台風の為中止） 11:45 水の館にて、手賀沼水生生物研究会の松本勝英さんによる手賀沼の状況説明、鈴木盛智さんから魚の生態を学ぶ。 12:00 昼食 自由行動 13:00 我孫子市鳥の博物館見学 14:00 バスに乗車 14:50 六実市民センター到着・解散</p>
<p>参加対象</p>	<p>小学生から成人（小学生は保護者同伴）</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 20名（大人9名、小学生7名、中学生4名） 会員スタッフ 7名（会員4名、講師1名、職員2名）</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>水調べ ポイント① （県立鎌ヶ谷西高校脇）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水調べ ポイント② （鎌ヶ谷市北部公民館脇 白幡橋上流）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>北部公民館にてレクチャー</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>長い間この企画を開催してきましたが、当日、台風による手賀沼船上学習が中止になった事は初めてでした。空いた時間で鳥の博物館見学を手水研の方々の協力で開催ができました。また手賀沼を船での水調べや生き物観察と魚を取る事を楽しみにしていた子どもたちには楽しみが半減してしまいました。また船の中での沼の景色を堪能できなくてハスの花も見られなくてがっかり！！と言う声もありましたが、きれいな花が咲いて楽しませてくれるハスも半面増加で沼が覆われ、魚や植物の光合成が出来にくく漁師さんの航路が狭くなり漁が出来なくなります。昨年度のように暑くて沼から網ですくい上げた魚が弱り、沼に返すことが出来なくなるという出来事もありました。また新たな外来植物が勢力を増して来るなど、実行委員会としては対策に苦慮しています。沼の為に何が良いのかを考えた活動計画をしていきたいと思えます。この水の旅に参加した中学生はパート②の水の学習会にも参加して水の汚れをさらに学びました。今後外来生物駆除をするための活動にも皆さんの参加協力をお願いします。</p>

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼もつと知ろう！ Part2 水の学習会「私たちの暮らしと水や生きものとのつながり」</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会 問合せ先 中岡 丈恵 TEL&FAX： 047-385-8950 Email： naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼や河川の水質と生きものつながりを学び、今何が出来るのか！しなければいけないのかを考える。</p>
<p>日時</p>	<p>2019年8月8日（木）10:00～15:00 まつど市民活動サポートセンター</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>第一部 10時～12時 水の学習会「私たちの暮らしと水や生きものとのつながり」 講師 須藤雅彦さん(一般財団法人千葉県環境財団) 内容 手賀沼の水や生き物に関する解説と手賀沼の水、川の水、ジュースなどの簡単な水質検査。私たちの暮らしと水との関わりなどから、私たちに何ができるのかをみんなで考える。</p> <p>第二部 13時～15時(希望者のみ) 夏休みの自由研究の為に、学んだことをまとめる作業、みんなで役割をもち作成する</p>
<p>参加対象</p>	<p>中学生から成人</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加10名（大人2名、中学生8名） 会員スタッフ9名（会員3名、講師1名、松戸市民活動サポートセンター2名、環境保全課3名）</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>講師の先生のお話や実験、まとめの作業をした中学生から振り返りがありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の汚れにもいろいろな見方があり、一概に汚れているとは言えない事がわかった。 ・水の汚れは自分たちの生活排水から出ているものでできているので、これからの生活では生活排水を少しでも減らしていけたらいいなと思いました。 ・手賀沼の水はワースト3位の水だったけど、生き物がたくさん住んでいるから大切にしていきたい。もっと自然とふれあっていたらいいと思う。 ・環境に合わせた水の使い方、食べ物の残りを出さない。 ・いろいろ行って来てくれてありがとうございました。 ・川や湖、海などに関心をもつ事ができた。自分も伝えられる人になりたい。 <p>70年ほど住んでいる93歳の方から 「若い人たちが参加して良いことです。昔はなかったから。」</p>

企画名	大津川に何が住んでいるのかな（大津川の水生生物を調べてみよう）									
実施団体	団体名 鎌ヶ谷・大津川を清流にする会 問合せ先 代表 井上 毅 TEL：080-6520-3118 Email：sprh8cy9@galaxy.ocn.ne.jp									
目的	水質や水生生物の状況を知ることにより、川の環境保全の重要性を理解していただくため									
日時	2019年10月20日（日）9:30～12:00									
プログラム・概要・ルート等	8：45 講師及びスタッフ集合、会場及びパネル展準備（北部公民館） 9：30 開会 主催者あいさつ 9：35 （1）講演：大津川の水生生物、水質と水生生物関連 （講師：須藤 雅彦氏 （一財）千葉県環境財団） （2）水質検査 実演と体験（COD） 10：40 母路橋周辺で川の中の生き物を採取 生き物の観察と解説 11：20 清掃活動の実演、 ゴミ収集の体験 11：50 調査のまとめ、解散									
	採取生物	<table border="1"> <tr> <td>ドジョウ</td> <td>3匹</td> </tr> <tr> <td>カダヤシ</td> <td>多数</td> </tr> <tr> <td>アメリカザリガニ</td> <td>多数</td> </tr> <tr> <td>オオカナダモ(植物)</td> <td>確認</td> </tr> </table>	ドジョウ	3匹	カダヤシ	多数	アメリカザリガニ	多数	オオカナダモ(植物)	確認
ドジョウ	3匹									
カダヤシ	多数									
アメリカザリガニ	多数									
オオカナダモ(植物)	確認									
参加対象	一般市民 ※小学生以下は保護者同伴									
参加人数	一般参加 25名（大人14名、小学生及び未就学11名） 会員スタッフ 12名（会員8名、講師1名、市職員3名）									



手賀沼のお話も



川に入って調査開始



川はどうでしたか？



何かいる！



清掃活動体験



集合写真

参加者や実施団体の感想	今回、参加者が多かったことは、大変良かった。水質と水生生物に関する講演では、水質保全の重要性が良く理解されたと思う。水生生物の採取、観察については、子供たちの関心が高かった。また、会の活動である清掃活動についても、その意義について知ってもらえたと思う。後日、鎌ヶ谷市立北部小学校から講師として会が招かれ、児童等に大津川の環境保全の重要性をお話しすることにつながった。今後も活動を通じて、多くの人たちに周知していきたい。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

企画名	竹炭・華炭を焼こう～間伐した竹や木の実を使って～
実施団体	団体名 栗野の森の会 問合せ先 代表 小出 達雄 TEL: 090-6309-4379 Email: tatutojun@ozzio.jp
目的	森や低湿地を侵蝕する竹を間伐し、拾った木の実なども落ち枝を燃料に焼いて、炭を作りながら、自然と親しむことを目的とする。
日時	2019年12月7日(土) 9:30～12:00
プログラム・概要・ルート等	前日の予報は雨でしたので炭焼きは中止して、当日は栗野コミュニティセンター集會室で竹炭や華炭の作り方を中心とした講座を催しました。 (炭材) (燃料) (手順) ①間伐したマダケ ①間伐した枯れたマダケ ①10グループに分け、それぞれ一斗缶に新聞紙や枯枝を使って火をつけます。 ②テーダマツ ②森で拾い集めるスギの落ち枝など ②炭材缶につめ、煙をみながら強火で蒸し焼きにする。 ③ヤブツバキ ③煙が出なくなった缶が冷めてから炭になったものを取り出す。 ④モミジバフウ ④籠に盛りつけます。 ⑤ハス ⑥クリ 今回は、予め用意した竹炭や華炭を籠に盛り付けて、作品にしました。
参加対象	どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
参加人数	一般参加19名(大人11名、子ども8名) 会員スタッフ13名(会員10名、市職員3名)



講座が始まりました。



栗野コミュニティセンター集會室



予め用意していた竹炭や華炭で、籠に盛り付けます。



出来上がり！

参加者や実施団体の感想	焼く予定であった炭材の竹や木の実6種と、前もって炭にしておいたもの両方を見せ、その変化(重さ・大きさ等)を感じてもらった。また、薪のくべ方を実際に見せ、注意点を知ってもらった。雨天のため、来られなかった申込者が15名程いたが、「どのくらい焼くのか?」「炭になったかどうかは、なぜわかるのですか。」等々、多くの質問があった。「燃やしたかった～」と子どもたちの声。お土産は、炭材と竹かごに各々盛った炭を大事そうに持ち帰って行きました。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------